

### 子育て支援教育



沖田ゆかり 議員

### Q 子どもの医療費助成拡大を

A 〈町長〉

災害復旧を第一に考えているため、将来的に検討していく。

〔Q1〕 児童虐待報道が後を絶たない中、今年度より実施される子どもの地域見守り支援ネットワーク事業とは。

〔A1〕 町内のスーパーやコンビニ、宅配業者などと協定を結び、情報を町に提供していただく事で支援を必要とする家庭の早期発見、早期対応につなげていきたい。

また、未就学のお子さんをお持ちの家庭を中心に、LINEなどで子育て支援事業や育児相談などの情報を発信していく。



〔Q2〕 産後の宿泊ケア事業とは。

〔A2〕 出産後に家族等からの支援が受けられず、育児や母体に健康上の不安がある方を対象に、助産施設に宿泊した上で、助産師等からサポートが受けられる事業。自己負担額は1日7500円、市町村民税非課税世帯または生活保護世帯は無料とし、原則7日を上限に利用可能としている。

〔Q3〕 保護者の皆様から医療費が大変負担になっているとの声を多く伺っている。熊野町だけが県内で就学前までの助成となっており他市町では最低小学三年生まで助成されているが。

〔A3〕 財政的に厳しいが、自己負担金を復活した上で、対象年齢を引き上げることを検討する。



光本一也 議員

### Q 手話言語条例の制定を

A 〈町長〉

本年12月に条例制定したい。

〔Q1〕 現時点での取り組み状況は。

〔A1〕 先例市への聴き取り調査、広島県ろうあ連盟など関係機関への協力依頼を始めている。

〔Q2〕 条例制定後の具体的な取り組みは。

〔A2〕 タブレット端末機を活用した窓口対応。多くの参加者が見込める短期間の手話通訳者養成講座も検討したい。

〔Q3〕 銀行やバス、タクシー、病院など民間事業者の協力も必要ではないか。

〔A3〕 手話通訳者派遣事業の活用と共に、ゆつくと

りとした口調での会話や丁寧な説明の協力を事業者呼び掛ける。

〔Q4〕 子どもたちへのアプローチも不可欠ではないか。

〔A4〕 健康まつりや社会福祉協議会が実施する夏休み福祉体験スクールなどで手話講座の実施を検討したい。

〔Q5〕 「障害者の意思疎通手段の確保等に関する条例」も併せて制定を希望する。

〔A5〕 制定時期を含め検討したい。



### 健康福祉



沖田ゆかり 議員

### Q 高齢者のごみ出し支援を

A 〈民生部長〉

環境省のガイドラインを受け、高齢者等の支援策の一つとして検討していく。

〔Q1〕 大きなごみ袋や新聞の束を集積所まで運ぶのは、足腰の弱い高齢者には負担であるとの声が多く、独居高齢者を対象に、ごみ出しに関するアンケート調査を行うべきではないか。

〔A1〕 市町村に示されるガイドライン、また先進事例等を検討しながら、今後、制度設計を進めていく中で調査が必要になってくると考えている。



〔Q2〕 ごみ出し支援では、声掛けに回答がなかった利用者を救急搬送している事例も多く、地域の見守り役も果たしていると思うが。

〔A2〕 安否確認などの福祉的な専門知識も必要になるため、ガイドラインを参考に検討していく。

〔Q3〕 新潟市の亀田西地区では路面が凍結しやすい冬場に限り、中学生が登校時に高齢者宅のごみ袋を集積所まで運んでいる。呉市の宮原中学校では月に1度、生徒が地域の方と一緒に高齢者のごみ出し支援をしている。教育的観点からも取り組んではいかがか。



〔A3〕 校長会等を通して、啓発していく。

### 道路交通



水原耕一 議員

### Q おでかけ号のルート変更や増便への見直しは

A 〈総務部長〉

効率性や利便性の向上に向け、引き続き研究していく。

〔Q1〕 中央地域コースのみ午後からの便が1便となったが、2便にすることは出来ないか。

〔A1〕 本運行への移行初年度なので、当面この運行を続けながら、検討する。

〔Q2〕 おでかけ号の委託費の算定単価は。

〔A2〕 中国運輸局が定めた基準、30分あたり3700円で、1日6時間で計算すると、月約90万円になる。

〔Q3〕 中央地域コースは、ルートが複雑である。時間で算定するのであれば、ルートをもっと簡略化する事によって時間を短縮させ、その

浮いた時間で、もう1便増やせないか。

〔A3〕 住民の方々の意見を伺い、利用状況の推移や利用者のニーズ等の把握に努めるとともに専門家の意見をいただきながら検討していく。

〔Q4〕 全国的に高齢者の方の免許の自主返納の動きが出ている。もっと利便性の高い乗り物にし、サポートしていただきたい。

〔A4〕 免許の自主返納が増えている事は、生活福祉交通協議会から報告があった。総合的に判断して進める。



▲ おでかけ号